

# 2011年7月20日 東京都市議会議長会「説得から納得の政策形成～図解コミュニケーション」アンケート

自分の仕事を理解していないことを発見しました。たった2時間の研修でしたが、大変充実し、参加できてよかったですと感じております。

初めは驚きでしたが、先生のお話や資料の図などを通して、その通りだと納得しました。「文章は虫の目、図は鳥の目」という言葉が今日の内容・要点であると思いました。

仕事の内容を把握できていないことが実感できました。図解的思考、今後も継続していきます。

図で示すことを前提にした仕事の考え方を意識して取り組んでいきたい。ブログ等の活用も参考になりました。

図で表現するとなると、なかなか関連性が難しかったり、きれいにまとめるのが難しいが、3回くらいは書き直しが必要ということなので、時間をかけてでも図で示すくせをつけたいと思う。

今まで、仕事を俯瞰して見ていたのではなく、文字でとらえていたことを実感し、大変に参考となりました。

後半1時間の「私の仕事」を図解し他の自治体の人達と紹介しあうのは、時間が足りなくなるほど充実していた。箇条書きがだめだというのがインパクトあった。

図を書く練習を通して、頭の中が整理されていくのを感じた。楽しく分かりやすい話を有難うございました。

トレーニングすることで今後使えると実感しました。

図に示すことによって、頭の中で分かっていたものが、より鮮明になる。図で考える事によって、課題が見えてくる。改めて確信しました。

実習で実際に図を書いてみると、こういうことだったのかと正に「目からウロコ」でした。

今後の仕事に対する考え方が変わった気がしました。

自分は箇条書き人間であることが分かった。図解によるコミュニケーションは確かに利点が多い。ソーシャルメディアを使っていない自分は時代遅れだ。

今回の講義を大変面白く感じました。実際に実習をすることにより、先生のお話どおり、自分がわかっていないことがよく分かりました。

文章、箇条書きの否定はカルチャーショックだった。図を書くことで頭の中身は随分と整理されると感じた。深く考えるクセがつくのではないかと考えました。

同じ業務をしているにもかかわらず、「私の仕事」の図は様々でした。

書いた図解を文章で書くと、関係性など表現できないことが良く理解できました。日常業務や生活でも図解的思考を取り入れてみたいと思います。

行政や事務改善は分かりやすさ単純にすることが一番必要だと思うので、この方法を参考に、今後も業務に取り組みたい。

先生の著書「人生がうまくいく人は図で考える」を拝読したことがあります。ライブをお聴きできましたので、実践していきたいと思います。

図は内容が整理されていないとうまくできないと思いました。事務の相互の関連を表現するには有効な手法だと思います。

図で表すことは、やはり、「考える」ということをいつも以上にしたと実感しました。これから仕事に役立てようと思います。早速来月インターンシップの学生がくるので、仕事図で説明しようと思います。